

# 2022年度第1四半期 決算説明資料

2022年8月4日

旭化成株式会社

**業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

# 説明のポイント

## 2022年度第1四半期実績

- 売上高は為替の円安影響や石化製品市況の高騰等により増収、第1四半期決算として過去最高
- 一方、営業利益は中国ロックダウン、半導体不足の長期化、ロシア・ウクライナ情勢等の経営環境の悪化により、需要減速や原燃料価格高騰等の影響を受けたことや、「ヘルスケア」において前年同期に発生した一時的要因等により減益

## 2022年度上期業績予想

- 厳しい経営環境が第1四半期から継続し、「マテリアル」で前年同期比減益を見込むが、中国ロックダウン等の影響は第2四半期にかけて一部改善する見込み
- 原燃料価格の価格転嫁、コストダウン、適正水準の在庫管理等を徹底し、影響の抑制に努める

## 株主還元

- 2022年度の間配当は18円を予想（変更なし）
- 中計の株主還元方針に沿って、自己株取得も含めさらなる還元拡充を検討

## 中計の取り組みの進捗

- 医療事業において次世代抗体医薬品CDMO事業を手掛けるBionova Scientific, LLCを買収
- フォトマスク用ペリクル事業の三井化学株式会社への承継を決定

# 経営環境に関する足元の状況と今後の見通し

- 経営環境の悪化に対し、原燃料価格の価格転嫁、コストダウン、適正水準の在庫管理、部材調達管理の強化等を徹底し、影響の抑制に努める

主な経営環境変化	影響のあるセグメント	足元の状況と今後の見通し
中国ロックダウン	マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>1Qを中心に自動車関連製品やスマートフォン向け製品等の需要が減少したが、2Q以降は一部改善を見込む</li> </ul>
半導体不足	マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>影響が長期化し、自動車生産台数が減少することに伴う自動車関連製品の需要減少を見込む</li> </ul>
	ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリティカルケア事業において、除細動器の部材調達難による影響が継続しているが、改善傾向にあり、2Q以降においてさらなる改善を見込む</li> </ul>
ロシア・ウクライナ情勢	マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車メーカーの部材調達難から欧州を中心に自動車生産台数が減少し、自動車関連製品の需要減少を見込む</li> </ul>
原燃料・資材価格高騰	マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>全般的に原燃料価格上昇が継続する一方で、積極的に価格転嫁を進め、交易条件悪化を抑制</li> </ul>
	住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築請負部門を中心に、鋼材等の価格上昇が継続し、当初予想よりも影響が拡大する見込み</li> <li>北米事業では、1Qで木材市況の下落により収益性が向上</li> </ul>

## 1. 2022年度第1四半期実績

P6	2022年度第1四半期実績（連結）
P7	2022年度第1四半期実績（セグメント別業績）
P8～10	営業利益の増減要因分析
P11	2022年度第1四半期 前年同期比の営業利益動向（事業別）
P12	海外売上高
P13	連結損益計算書
P14	特別損益
P15	連結貸借対照表
P16	連結キャッシュ・フロー計算書

## 2. 2022年度上期業績予想

P18	2022年度上期業績予想（連結）
P19	2022年度上期業績予想（セグメント別業績）
P20	2022年度上期予想 前年同期比の営業利益動向（事業別）
P21～22	事業別売上高・営業利益予想

## 3. 参考資料

P24	開示区分の変更
P25～30	セグメント別概況
P31	主なM&A案件
P32	トピックス
P33～34	四半期売上高・営業利益推移（2019年度以降）
P35	中期経営計画における成長牽引事業（GG10）
P36	注記
P37	IRカレンダー



# 1. 2022年度第1四半期実績

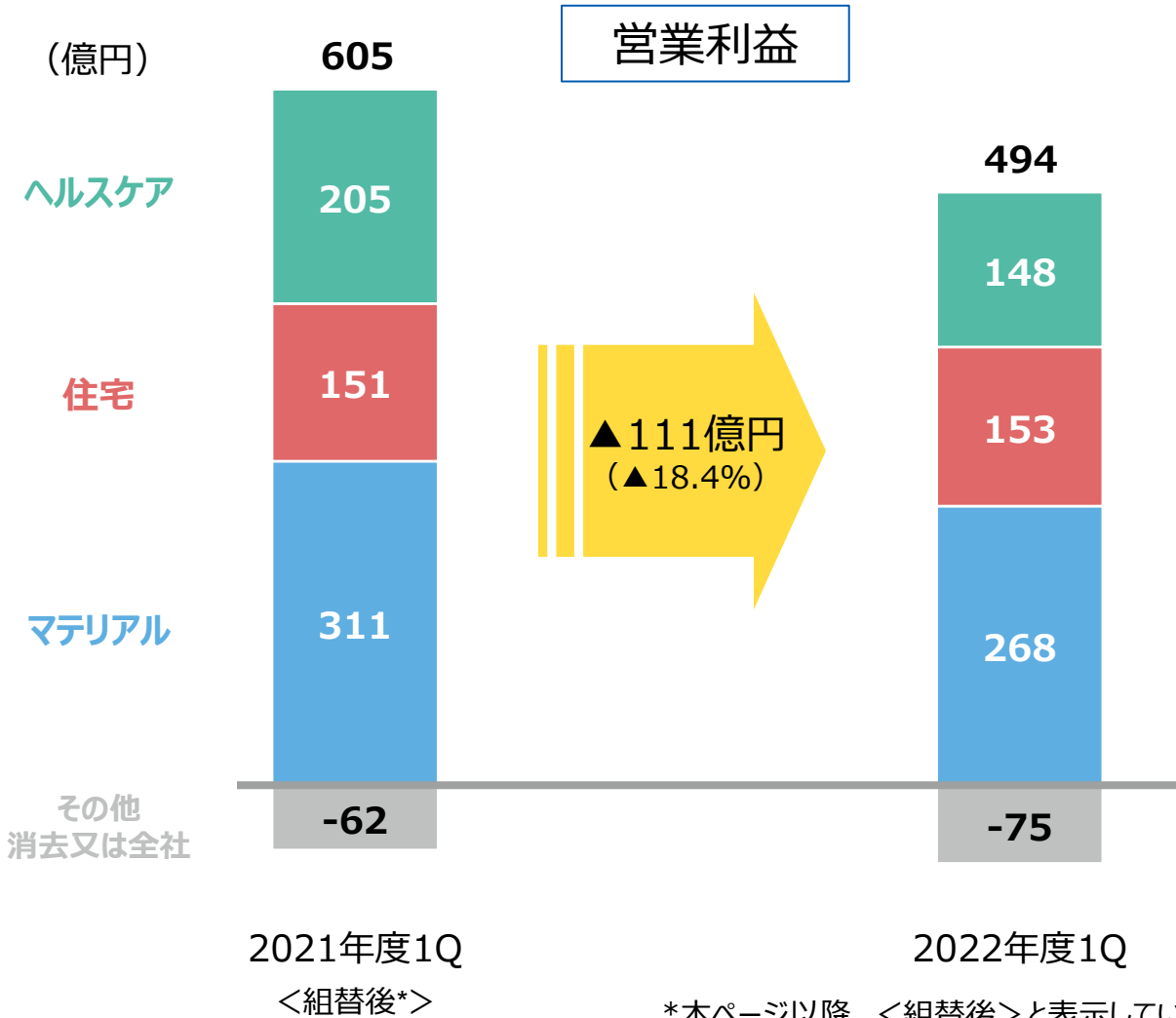
# 2022年度第1四半期実績（連結）

- 売上高は為替の円安影響や石化製品市況の高騰等により全セグメントで増収
- 営業利益は中国ロックダウン、半導体不足の長期化、ロシア・ウクライナ情勢等の経営環境の悪化により、自動車関連事業等における需要減速、原燃料価格高騰等の影響を受けたことや、「ヘルスケア」において前年同期に発生した一時的要因等により減益
- 四半期純利益は、営業利益の減少に加え、政策保有株式売却益の減少等により減益

		2021年度1Q	2022年度1Q	増減額	前年同期比 増減率
売上高	(億円)	5,834	6,704	870	14.9%
営業利益	(億円)	605	494	-111	-18.4%
売上高営業利益率		10.4%	7.4%		
EBITDA	(億円)	960	905	-56	-5.8%
売上高EBITDA率		16.5%	13.5%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円)	464	298	-166	-35.7%
相場平均為替レート (USD)		110円	130円		
相場平均為替レート (ユーロ)		132円	138円		

# 2022年度第1四半期実績（セグメント別業績：前年同期比）

- デジタルソリューション事業や医薬・医療事業等、堅調に推移した事業もあったが、経営環境の悪化や「ヘルスケア」の前年同期の一時要因等により、「マテリアル」と「ヘルスケア」で減益



## セグメント別の主な要因

### ヘルスケア：増収・減益

医薬・医療事業において主力製品が好調に販売数量を伸ばした一方、クリティカルケア事業は前年同期の人工呼吸器特需の影響がなくなったことや買収影響等の一時要因に加え、半導体不足影響により販売数量が減少

### 住宅：増収・増益

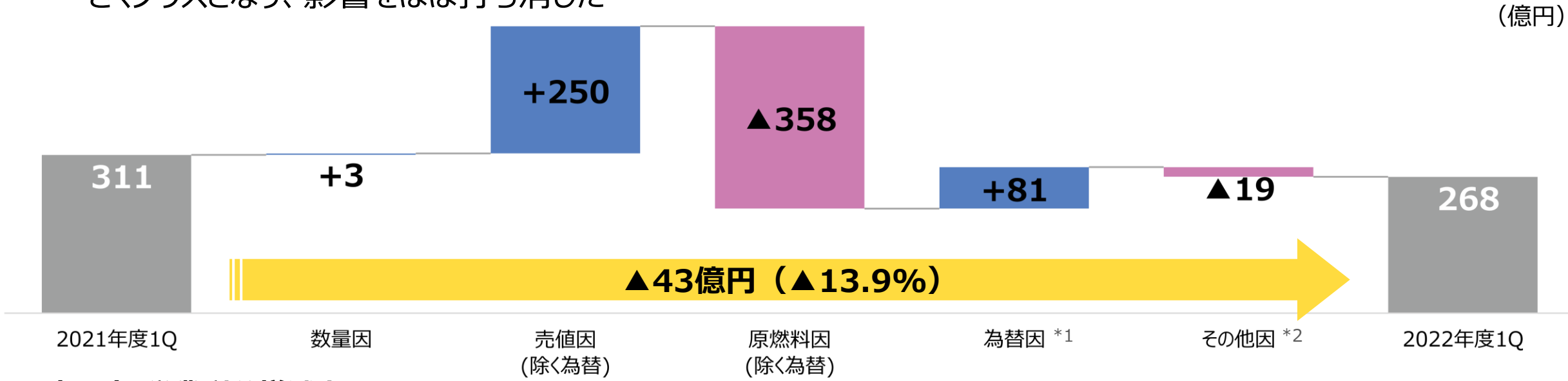
不動産部門の分譲マンション販売戸数が減少した一方、北米事業を中心に海外事業部門が順調に推移

### マテリアル：増収・減益

円安や石化製品市況の高騰等を受けた価格転嫁が進み、またデジタルソリューション事業における販売数量増加の一方、半導体不足による自動車減産等に伴いセパレータやエンジニアリング樹脂等の販売数量が減少

# 営業利益の増減要因分析（マテリアル）

➤ 原燃料価格高騰により原燃料因が大きくマイナスとなった一方、価格転嫁の推進や円安により売値因は大きくプラスとなり、影響をほぼ打ち消した



## 売上高・営業利益増減内訳

		2021年度1Q ＜組替後＞	2022年度1Q	増減額	増減率	内訳				
						数量因	売値因 (除く為替)	原燃料因 (除く為替)	為替因*1	その他因*2
マテリアルセグメント	売上高	2,796	3,394	598	21.4%	41	250	-	125	182
	営業利益	311	268	-43	-13.9%	3	250	-358	81	-19
環境ソリューション	売上高	1,191	1,499	308	25.8%	15	178	-	43	72
	営業利益	143	102	-42	-29.1%	-14	178	-319	33	81
モビリティ&インダストリアル	売上高	754	925	171	22.7%	-17	62	-	40	86
	営業利益	82	52	-30	-37.0%	-5	62	-76	18	-29
ライフイノベーション	売上高	850	969	118	13.9%	41	10	-	42	25
	営業利益	102	121	19	18.9%	23	10	-17	30	-26
マテリアル共通	売上高	0	2	1	231.8%	1	-	-	-	-
	営業利益	-16	-6	10	-	-1	-	55	-	-44

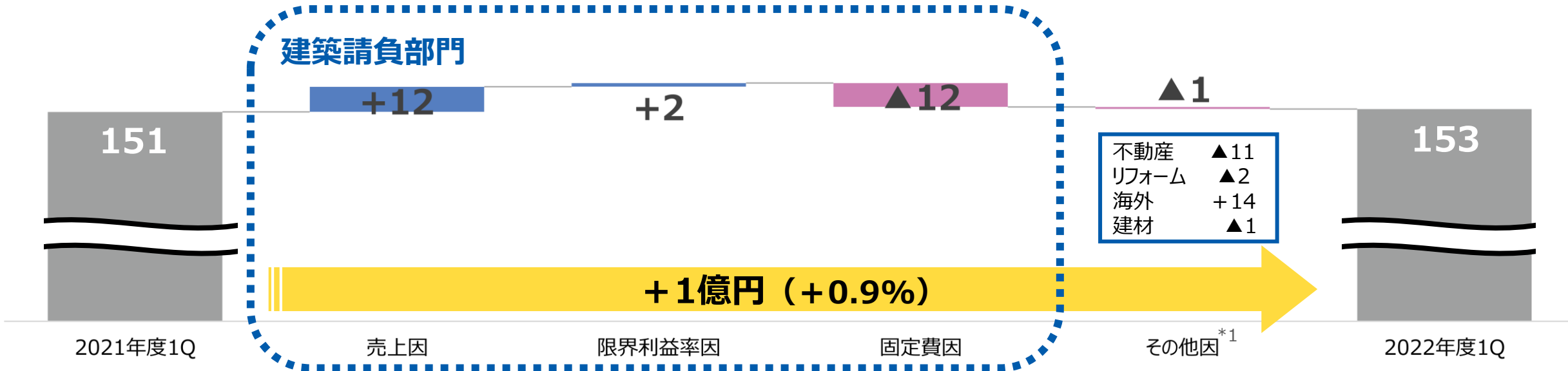
\*1 売値因・原燃料因に関連する為替因 \*2 為替換算差、固定費差、在庫影響 等



# 営業利益の増減要因分析（住宅）

➤ 建築請負部門において、物件の大型化・高付加価値化による平均単価上昇、コストダウンによる収益性改善の推進により、資材価格高騰の影響を受けながらも利益が改善

(億円)



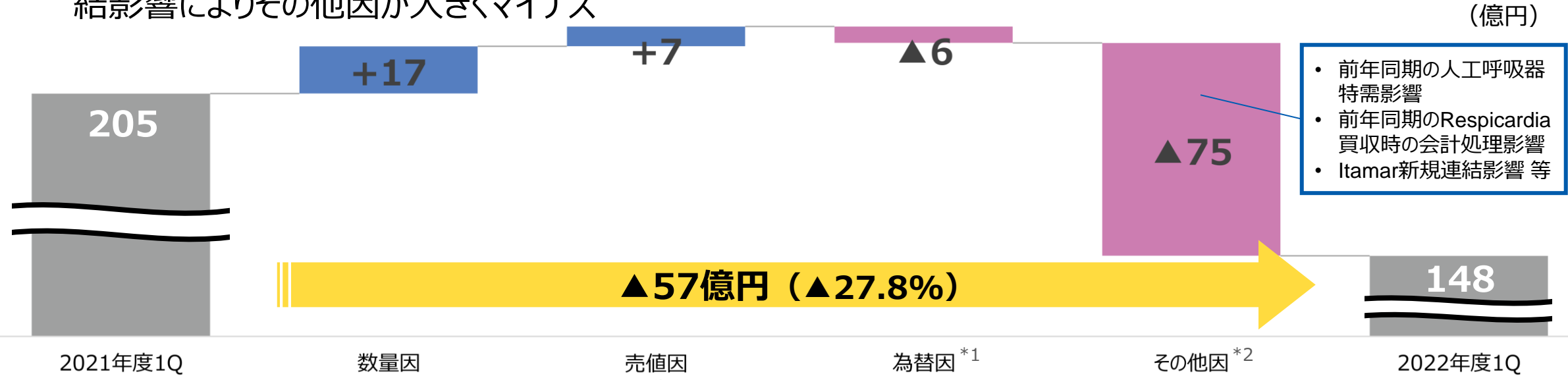
## 売上高・営業利益増減内訳

		2021年度1Q ＜組替後＞	2022年度1Q	増減額	増減率	内訳			
						建築請負部門			その他因 <sup>*1</sup>
						売上因	限界利益率因	固定費因	
住宅セグメント	売上高	1,951	2,066	116	5.9%	39	-	-	77
	営業利益	151	153	1	0.9%	12	2	-12	-1

\*1 不動産、リフォーム、海外、建材等

# 営業利益の増減要因分析（ヘルスケア）

➤ 医薬・医療事業の主力製品の販売増により数量因はプラスとなる一方、クリティカルケア事業において前年同期の人工呼吸器特需の影響やRespicardia買収時の会計処理影響がなくなったこと、Itamar新規連結影響によりその他因が大きくマイナス



- 前年同期の人工呼吸器特需影響
- 前年同期のRespicardia買収時の会計処理影響
- Itamar新規連結影響等

## 売上高・営業利益増減内訳

		2021年度1Q	2022年度1Q	増減額	増減率	内訳			
						数量因	売値因 (除く為替)	為替因 *1	その他因 *2
ヘルスケアセグメント	売上高	1,058	1,214	156	14.8%	15	7	-6	140
	営業利益	205	148	-57	-27.8%	17	7	-6	-75
医薬・医療	売上高	428	505	77	18.0%	59	-1	1	18
	営業利益	76	100	24	31.6%	42	-1	1	-17
クリティカルケア	売上高	630	710	79	12.6%	-44	8	-6	122
	営業利益	129	48	-81	-62.9%	-25	8	-6	-57

\*1 売値因に関連する為替因 \*2 為替換算差、固定費差、ライセンス・導入・導出等の一時収益・費用、新規連結等

# 2022年度第1四半期 前年同期比の営業利益動向（事業別）

		利益動向	主な営業利益増減要因
マテリアル	環境ソリューション		<p>【セパレータ】 車載用途における自動車減産等の影響に加え、中国景気後退に伴う民生用途の需要減速により減益</p> <p>【基盤マテリアル】 原燃料価格高騰の一方、今年度は大規模定修がないことによる販売増、費用減等で横ばい</p>
	モビリティ & インダストリアル		<p>【自動車内装材】 原燃料価格高騰、物流費上昇等を受け減益</p> <p>【エンジニアリング樹脂】 価格転嫁が進む一方、自動車減産の影響による販売減等により減益</p>
	ライフイノベーション		<p>【デジタルソリューション】 スマートフォン向け電子部品の販売増に加え、半導体市況活況の継続や、為替の円安影響等により増益</p>
住宅	住宅		<p>【建築請負】 資材高騰の影響を受けたが、物件の大型化・高付加価値化により増益</p> <p>【海外】 北米事業において、木材価格変動に応じた価格転嫁が進んだことに加え、足元の木材価格下落により、増益</p> <p>【不動産】 分譲マンション販売の引渡戸数の減少により減益</p>
ヘルスケア	医薬・医療		<p>【医薬】 ライセンス収入の減少や販管費増加の一方、テリボン、Envarsus XR等の主力製剤の販売増により増益</p> <p>【医療】 物流費等販管費増加の一方、プラノバの販売増、円安による換算差等により増益</p>
	クリティカルケア		<p>【除細動器】 前年同期の人工呼吸器特需の影響がなくなったことに加え、半導体不足による販売減により減益。半導体不足の影響は21/4Qから22/1Qにかけて改善傾向</p> <p>【Life Vest】 円安による換算差等があり、増益</p> <p>【その他】 前年同期のRespicardia買収時の会計処理影響がなくなったことや、Itamar新規連結等の減益要因あり</p>

(億円)

	2021年度1Q<組替後>		2022年度1Q		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	海外売上高	海外売上高比率	海外売上高	海外売上高比率		
<b>マテリアルセグメント</b>	1,745	62.4%	2,041	60.1%	295	16.9%
環境ソリューション	776	65.1%	852	56.9%	77	9.9%
モビリティ&インダストリアル	583	77.4%	738	79.8%	155	26.5%
ライフイノベーション	386	45.4%	449	46.3%	63	16.3%
マテリアル共通	0	100.0%	2	100.0%	1	231.8%
<b>住宅セグメント</b>	367	18.8%	483	23.4%	116	31.5%
住宅	367	19.6%	483	24.4%	116	31.5%
建材	-	-	-	-	-	-
<b>ヘルスケアセグメント</b>	816	77.1%	943	77.7%	127	15.6%
医薬・医療	191	44.7%	242	47.9%	51	26.5%
クリティカルケア	625	99.1%	701	98.8%	76	12.2%
その他	2	7.2%	3	11.0%	1	50.9%
合 計	2,930	50.2%	3,470	51.8%	539	18.4%
<b>地域別海外売上高</b>						
アジア	1,272	21.8%	1,428	21.3%	157	12.3%
(内、中国)	578	9.9%	630	9.4%	51	8.9%
米州	953	16.3%	1,254	18.7%	302	31.7%
欧州	391	6.7%	420	6.3%	29	7.4%
その他海外	315	5.4%	367	5.5%	52	16.5%

## 前年同期比の主な増減要因

- 販管費 : 労務費、物流費等が増加したほか、円安により海外子会社の販管費の換算額が増加
- 営業外損益 : PTT旭ケミカルの利益減少等により持分法投資損益が悪化
- 特別損益 : 政策保有株式の売却益の減少、段階取得に係る差益の減少等により利益が減少

(億円)

	2021年度1Q		2022年度1Q		増減額	増減率
		売上高比率		売上高比率		
売上高	5,834	100.0%	6,704	100.0%	870	14.9%
売上原価	3,881	66.5%	4,645	69.3%	764	19.7%
売上総利益	1,954	33.5%	2,060	30.7%	106	5.4%
販管費	1,349	23.1%	1,566	23.4%	217	16.1%
営業利益	605	10.4%	494	7.4%	-111	-18.4%
営業外損益	47		22		-25	
(内、持分法投資損益)	(37)		(16)		(-21)	
経常利益	652	11.2%	515	7.7%	-136	-20.9%
特別損益	32		-19		-52	
税前利益	684	11.7%	496	7.4%	-188	-27.5%
法人税等	-216		-196		20	
非支配株主に帰属する四半期純利益	-4		-1		2	
親会社株主に帰属する四半期純利益	464	8.0%	298	4.4%	-166	-35.7%

	(億円)		
	2021年度1Q	2022年度1Q	増減
投資有価証券売却益	56	22	-34
固定資産売却益	3	6	3
段階取得に係る差益	17	-	-17
特別利益	76	28	-48
投資有価証券評価損	-	10	10
固定資産処分損	15	12	-4
減損損失	0	0	0
火災損失	-	16	16
事業構造改善費用	28	9	-20
特別損失	44	47	4
特別損益	32	-19	-52

# 連結貸借対照表

- 総資産 : 原燃料価格高騰による棚卸資産の増加に加え、円安に伴い海外子会社の資産が増加
- 負債 : 有利子負債の増加に加え、円安に伴い海外子会社の負債が増加
- 純資産 : 四半期純利益の計上があったほか、円安に伴いその他の包括利益累計額（為替換算調整勘定）が増加

	2022/3月末	2022/6月末	増減		2022/3月末	2022/6月末	増減
流動資産	13,342	14,667	1,325	負債	16,303	17,773	1,471
現金及び預金	2,446	2,786	340	流動負債	9,239	10,522	1,284
受取手形、売掛金及び契約資産	4,346	4,491	145	支払手形及び買掛金	1,781	1,957	176
棚卸資産	5,402	6,074	672	その他	7,458	8,565	1,108
その他	1,147	1,316	169	固定負債	7,064	7,251	187
固定資産	20,149	21,665	1,516	純資産	17,188	18,558	1,370
有形固定資産	8,052	8,361	309	株主資本	14,594	14,655	61
無形固定資産	8,368	9,486	1,117	資本金	1,034	1,034	-
投資その他の資産	3,728	3,819	91	資本剰余金	799	799	-0
				利益剰余金	12,823	12,884	61
				自己株式	-62	-62	-0
				その他の包括利益累計額	2,280	3,580	1,299
				非支配株主持分	314	324	10
資産合計	33,491	36,332	2,841	負債純資産合計	33,491	36,332	2,841
のれん残高	4,313	5,072	758				
有利子負債 <sup>*1</sup>	7,663	9,352	1,689				
D/Eレシオ	0.45	0.51	0.06				

\*1 リース債務除く

- 営業CF： 税金等調整前四半期純利益の減少に加え、棚卸資産等の運転資本増加やVeloxis再編関連の税金支払いの増加等があり、キャッシュ・アウトに転じた
- 投資CF： Bionova買収によるM&A関連の支出等により前年同期比でキャッシュ・アウトが増加
- 財務CF： 配当金の支払いの一方、資金調達の実行によりキャッシュ・イン

	2021年度1Q	2022年度1Q	(億円) 増減
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	302	-401	-703
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	-397	-821	-424
設備投資による支出	-318	-388	-71
M&A関連による支出	-199	-422	-223
その他	120	-10	-130
c. フリー・キャッシュ・フロー (a+b)	-95	-1,222	-1,127
d. 財務活動によるキャッシュ・フロー	116	1,357	1,241
e. その他	3	201	198
現金及び現金同等物の増減額 (c+d+e)	24	336	312





## 2. 2022年度上期業績予想

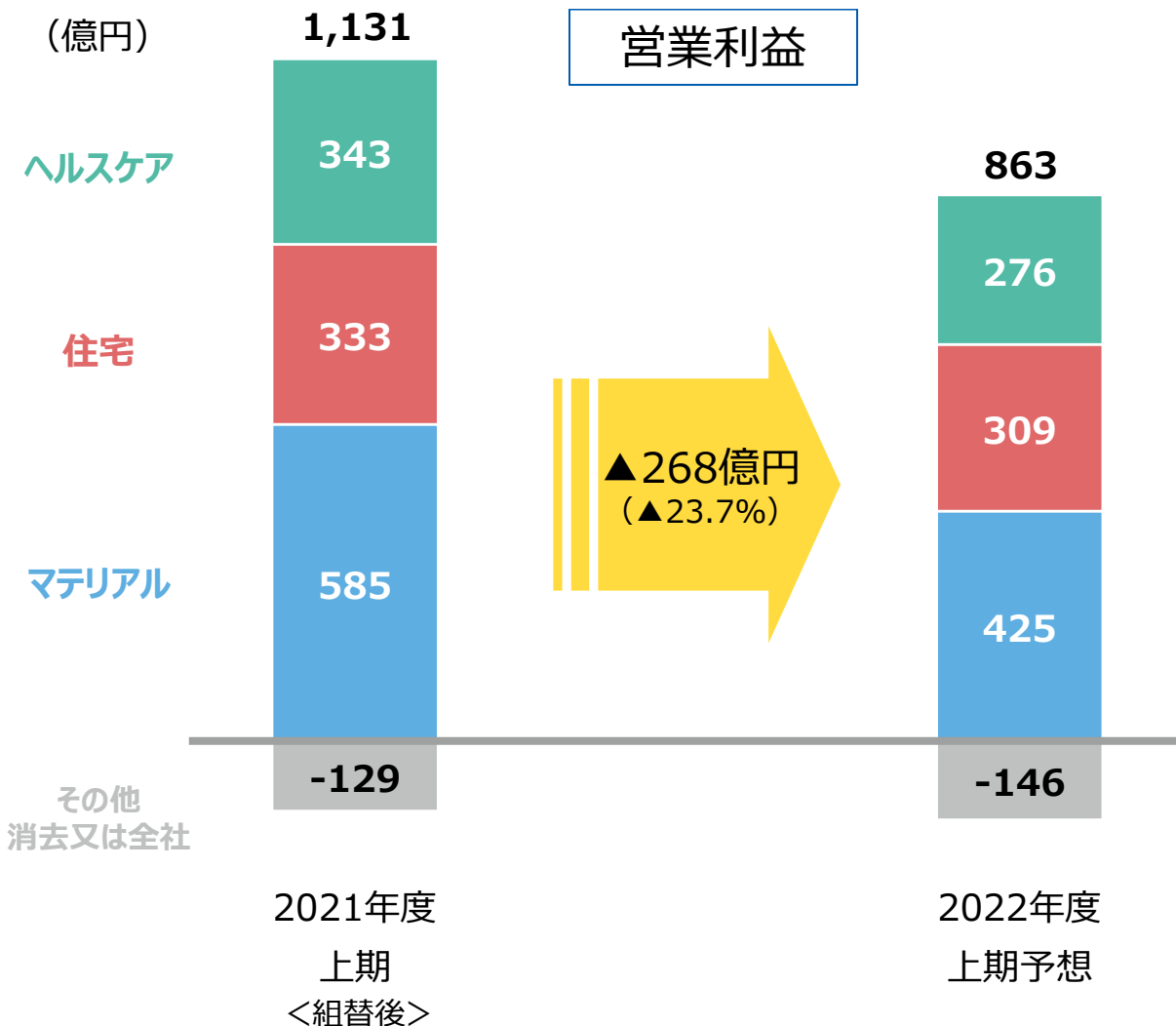
# 2022年度上期業績予想（連結）

- 経営環境は第1四半期に引き続き厳しい状況となることを想定し、「マテリアル」を中心に減益を見込む
- 中国ロックダウン等の影響は第2四半期にかけて一部改善する見込み。世界景気の動向は今後も注視していく
- 2022年度の中間配当は18円を予想（5月公表から変更なし）、中計の株主還元方針に沿って、自己株取得も含めさらなる還元拡充を検討

				2021年度			2022年度	上期 前年同期比 増減率
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q予想	上期予想	
売上高	(億円)	5,834	5,976	11,810	6,704	7,166	13,870	17.4%
営業利益	(億円)	605	526	1,131	494	369	863	-23.7%
売上高営業利益率				9.6%			6.2%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円)	464	449	913	298	230	528	-42.2%
相場平均為替レート (USD)				110円			132円	
相場平均為替レート (ユーロ)				131円			139円	
国産ナフサ価格				50,600円/kl			83,800円/kl	
1株当たり配当金				17円			18円 (予想)	

# 2022年度上期業績予想（セグメント別業績：前年同期比）

- ▶ デジタルソリューション事業や医薬・医療事業等、堅調に推移する事業もある一方、経営環境の悪化や「ヘルスケア」の前年同期の一時要因により、全セグメントで減益を見込む



## セグメント別の主な要因

### ヘルスケア：増収・減益

医薬・医療事業において主力製品が好調に販売数量を伸ばす一方、医療事業において新規連結影響や、クリティカルケア事業において前年同期の人工呼吸器特需の影響がなくなったことや買収影響等の一時要因、半導体不足影響による販売数量減少を見込む







### 住宅：増収・減益

建築請負部門において物件の大型化・高付加価値化による増益を見込む一方、不動産部門における分譲マンションの販売戸数減少を見込む

### マテリアル：増収・減益

円安や石化製品市況の高騰等を受けた価格転嫁が進み、デジタルソリューション事業において販売数量が増加する一方、半導体不足による自動車減産等に伴うセパレータやエンジニアリング樹脂等の販売数量減少や、基盤マテリアル事業における交易条件の悪化を見込む

# 2022年度上期予想 前年同期比の営業利益動向（事業別）

		利益動向	主な営業利益増減要因
マテリアル	環境ソリューション		<p>【セパレータ】 車載用途における自動車減産等の影響に加え、中国景気後退に伴う民生用途の需要減速により減益を見込む。車載用途の需要は2Qにかけて一部改善を見込む</p> <p>【基盤マテリアル】 交易条件悪化により減益を見込む</p>
	モビリティ & インダストリアル		<p>【自動車内装材】 原燃料価格高騰、物流費上昇等が続き、減益を見込む</p> <p>【エンジニアリング樹脂】 価格転嫁が進む一方、自動車減産の影響による販売減等により減益を見込む</p>
	ライフソリューション		<p>【デジタルソリューション】 スマートフォン向け電子部品の販売増に加え、半導体市況活況の継続や、為替の円安影響等により増益を見込む</p> <p>【コンフォートライフ】 原燃料・物流費高騰の影響等により減益を見込む</p>
住宅	住宅		<p>【建築請負】 資材高騰の影響を受けるが、物件の大型化・高付加価値化により増益を見込む</p> <p>【海外】 北米事業は木材のマーゲンの縮小を見込むものの堅調に推移。一方、豪州事業は資材費・労務費高騰を見込み、全体では横ばいを見込む</p> <p>【不動産】 分譲マンション販売戸数戸数の減少により減益を見込む</p>
ヘルスケア	医薬・医療		<p>【医薬】 ライセンス収入の減少や販管費増加の一方、テリボン、Envarsus XR等の主力製剤の販売増により増益を見込む</p> <p>【医療】 プラノバの販売増や円安による換算差がある一方、Bionova（CDMO事業）の新規連結影響により減益を見込む</p>
	クリティカルケア		<p>【除細動器】 前年同期の人工呼吸器特需の影響がなくなることに加え、半導体不足による販売減により減益を見込む。半導体不足の影響は2Qにかけてさらなる改善を見込む</p> <p>【Life Vest】 米国外での好調な推移に加え、円安による換算差等により増益を見込む</p> <p>【その他】 前年同期のRespicardia買収時の会計処理影響がなくなることや、Itamar新規連結等の減益要因あり</p>

# 事業別売上高予想

(億円)

			2021年度 上期 ＜組替後＞			2022年度 上期予想	上期 前年同期比 増減額	上期 前年同期比 増減率
	1Q	2Q		1Q	2Q予想			
マテリアルセグメント	2,796	2,963	5,759	3,394	3,726	7,120	1,361	23.6%
環境ソリューション	1,191	1,290	2,482	1,499	1,646	3,145	663	26.7%
モビリティ&インダストリアル	754	765	1,518	925	1,060	1,985	467	30.8%
ライフイノベーション	850	905	1,756	969	1,016	1,985	229	13.1%
マテリアル共通	0	3	3	2	3	5	2	49.5%
住宅セグメント	1,951	1,979	3,930	2,066	2,104	4,170	240	6.1%
住宅	1,872	1,886	3,758	1,975	1,995	3,970	212	5.6%
建材	79	93	171	92	108	200	29	16.7%
ヘルスケアセグメント	1,058	1,001	2,059	1,214	1,296	2,510	451	21.9%
医薬・医療	428	426	853	505	510	1,015	162	18.9%
クリティカルケア	630	575	1,205	710	785	1,495	290	24.0%
その他	30	33	63	30	40	70	7	10.7%
合 計	5,834	5,976	11,810	6,704	7,166	13,870	2,060	17.4%

# 事業別営業利益予想

(億円)

			2021年度 上期 ＜組替後＞			2022年度 上期予想	上期 前年同期比 増減額	上期 前年同期比 増減率
	1Q	2Q		1Q	2Q予想			
マテリアルセグメント	311	275	585	268	157	425	-161	-27.5%
環境ソリューション	143	145	289	102	52	153	-135	-46.9%
モビリティ&インダストリアル	82	50	132	52	53	105	-27	-20.7%
ライフイノベーション	102	89	191	121	63	184	-7	-3.6%
マテリアル共通	-16	-11	-27	-6	-11	-18	9	-
住宅セグメント	151	181	333	153	156	309	-24	-7.2%
住宅	147	173	320	150	155	305	-15	-4.8%
建材	4	8	12	3	1	4	-9	-70.6%
ヘルスケアセグメント	205	138	343	148	128	276	-67	-19.5%
医薬・医療	76	59	136	100	57	157	21	15.8%
クリティカルケア	129	78	207	48	71	119	-88	-42.7%
その他	5	12	17	6	8	14	-3	-18.1%
消去又は全社	-67	-79	-146	-81	-79	-160	-14	-
合 計	605	526	1,131	494	369	863	-268	-23.7%



# 3. 参考資料

# 開示区分の変更

セグメント	サブセグメント	事業	
マテリアル	環境ソリューション	セパレータ	
		膜・システム	
		合成ゴム・エラストマー	
		基盤マテリアル*1	
	モビリティ&インダストリアル	繊維（自動車関連）	
		エンジニアリング樹脂	
		機能性コーティング	
	ライフイノベーション	デジタルソリューション	電子材料
			電子部品
			UVCプロジェクト
			添加剤
			化薬
		コンフォートライフ	感光材
			繊維（衣料・産業資材他）
		消費財	
	旭化成アドバンス*2		
住宅	住宅		
	建材		
ヘルスケア	医薬・医療		
	クリティカルケア		
その他			
消去又は全社			

【凡例】

- 旧 基盤マテリアル
- 旧 パフォーマンスプロダクツ
- 旧 スペシャルティソリューション
- 旧 その他／消去又は全社

\*1 一部の製品はモビリティ&インダストリアル事業に移管している。

\*2 パフォーマンスプロダクツ事業、マテリアル共通および建材事業に含まれていた旭化成アドバンスの業績を、併せてライフイノベーション事業に含めている。



# マテリアルセグメント（売上高・営業利益）

(億円)

売上高	2021年度 上期 ＜組替後＞		2022年度 上期予想	2022年度 上期予想		1Q 前年同期比		上期 前年同期比		
	1Q	2Q		1Q	2Q予想	増減額	増減率	増減額	増減率	
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>2,796</b>	<b>2,963</b>	<b>5,759</b>	<b>3,394</b>	<b>3,726</b>	<b>7,120</b>	<b>598</b>	<b>21.4%</b>	<b>1,361</b>	<b>23.6%</b>
環境ソリューション事業	1,191	1,290	2,482	1,499	1,646	3,145	308	25.8%	663	26.7%
うち 基盤マテリアル事業	724	823	1,547	1,001	1,079	2,080	277	38.3%	533	34.5%
モビリティ&インダストリアル事業	754	765	1,518	925	1,060	1,985	171	22.7%	467	30.8%
ライフイノベーション事業	850	905	1,756	969	1,016	1,985	118	13.9%	229	13.1%
うち デジタルソリューション事業	286	306	593	342	353	695	56	19.6%	102	17.3%
マテリアル共通	0	3	3	2	3	5	1	231.8%	2	49.5%

営業利益	2021年度 上期 ＜組替後＞		2022年度 上期予想	2022年度 上期予想		1Q 前年同期比		上期 前年同期比		
	1Q	2Q		1Q	2Q予想	増減額	増減率	増減額	増減率	
<b>マテリアルセグメント</b>	<b>311</b>	<b>275</b>	<b>585</b>	<b>268</b>	<b>157</b>	<b>425</b>	<b>-43</b>	<b>-13.9%</b>	<b>-161</b>	<b>-27.5%</b>
環境ソリューション事業	143	145	289	102	52	153	-42	-29.1%	-135	-46.9%
うち 基盤マテリアル事業	82	108	190	83	31	114	1	1.0%	-77	-40.3%
モビリティ&インダストリアル事業	82	50	132	52	53	105	-30	-37.0%	-27	-20.7%
ライフイノベーション事業	102	89	191	121	63	184	19	18.9%	-7	-3.6%
うち デジタルソリューション事業	43	46	89	67	39	106	24	55.5%	17	19.1%
マテリアル共通	-16	-11	-27	-6	-11	-18	10	-	9	-

## 住宅セグメント（売上高・営業利益）

(億円)

売上高	2021年度 上期 ＜組替後＞		2022年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比				
	1Q	2Q		1Q	2Q予想	増減額	増減率	増減額	増減率	
<b>住宅セグメント</b>	<b>1,951</b>	<b>1,979</b>	<b>3,930</b>	<b>2,066</b>	<b>2,104</b>	<b>4,170</b>	<b>116</b>	<b>5.9%</b>	<b>240</b>	<b>6.1%</b>
住宅事業	1,872	1,886	3,758	1,975	1,995	3,970	103	5.5%	212	5.6%
建築請負部門	912	979	1,890	951	1,009	1,960	39	4.3%	70	3.7%
不動産部門	459	401	860	417	393	810	-42	-9.1%	-50	-5.8%
リフォーム部門	130	138	267	121	149	270	-8	-6.5%	3	1.0%
海外事業部門	367	364	731	483	447	930	116	31.5%	199	27.2%
その他	4	5	9	3	-3	0	-2	-38.1%	-9	-100.0%
建材事業	79	93	171	92	108	200	13	16.6%	29	16.7%

営業利益	2021年度 上期 ＜組替後＞		2022年度 上期予想	1Q 前年同期比		上期 前年同期比				
	1Q	2Q		1Q	2Q予想	増減額	増減率	増減額	増減率	
<b>住宅セグメント</b>	<b>151</b>	<b>181</b>	<b>333</b>	<b>153</b>	<b>156</b>	<b>309</b>	<b>1</b>	<b>0.9%</b>	<b>-24</b>	<b>-7.2%</b>
住宅事業	147	173	320	150	155	305	2	1.5%	-15	-4.8%
建築請負部門	57	84	141	60	92	152	3	5.5%	10	7.3%
不動産部門	56	41	96	45	27	72	-11	-19.8%	-25	-25.5%
リフォーム部門	11	15	26	9	18	26	-2	-20.3%	1	2.4%
海外事業部門	23	31	54	36	19	55	14	59.8%	2	3.1%
その他	1	2	4	0	-0	0	-1	-83.7%	-3	-95.5%
建材事業	4	8	12	3	1	4	-1	-20.6%	-9	-70.6%

# 住宅セグメント（受注の状況、売上高の内訳）

➤ 2022年度上期の建築請負受注高は、住宅展示場における集客減少の影響が長期化する中でも、前年同期比でプラスの見通し

（単位：億円、（ ）内は対前年同期比）

		建築請負部門						不動産部門			
		受注		売上高				売上高			
		受注高	受注残	戸建	集合	他 <sup>*1</sup>	合計	分譲	賃貸	他	合計
2020年度	上期	1,453 (-28.1%)	5,438	1,328	469	81	1,878	309	581	21	910
	下期	1,813 (-8.6%)	5,275	1,366	611	92	2,069	111	608	71	790
	通期	3,266 (-18.4%)		2,693	1,080	174	3,947	420	1,189	91	1,701
2021年度 <sup>*2</sup>	1Q	912 (91.5%)	5,409	612	248	51	912	133	310	16	459
	2Q	1,151 (17.8%)	5,635	662	261	56	979	71	315	15	401
	上期	2,063 (42.0%)		1,274	510	106	1,890	205	625	31	860
	下期	1,780 (-1.8%)	5,333	1,423	606	116	2,145	247	646	72	965
	通期	3,843 (17.7%)		2,697	1,116	222	4,035	452	1,271	102	1,825
2022年度 <sup>*2</sup>	1Q	924 (1.3%)	5,486	630	271	50	951	73	330	14	417
	2Q予想	1,181 (2.6%)	5,687				1,009	27	340	26	393
	上期予想	2,105 (2.0%)					1,960	100	670	40	810

\*1 一部分譲、ケア工事等。（2019年度より、従来販管費で計上していたケア工事収入を売上高に含めている。）

\*2 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。ただし、受注残については旧基準ベースで算出した金額を表示している。

## ヘルスケアセグメント（売上高・営業利益・EBITDA）

(億円)

売上高	1Q	2Q	2021年度 上期	2022年度		1Q 前年同期比		上期 前年同期比		
				1Q	2Q予想	増減額	増減率	増減額	増減率	
ヘルスケアセグメント	1,058	1,001	2,059	1,214	1,296	2,510	156	14.8%	451	21.9%
医薬・医療事業	428	426	853	505	510	1,015	77	18.0%	162	18.9%
医薬事業	227	221	448	270	275	545	43	19.0%	97	21.7%
医療事業	201	205	406	235	235	470	34	16.9%	64	15.9%
クリティカルケア事業	630	575	1,205	710	785	1,495	79	12.6%	290	24.0%

営業利益	1Q	2Q	2021年度 上期	2022年度		1Q 前年同期比		上期 前年同期比		
				1Q	2Q予想	増減額	増減率	増減額	増減率	
ヘルスケアセグメント	205	138	343	148	128	276	-57	-27.8%	-67	-19.5%
医薬・医療事業	76	59	136	100	57	157	24	31.6%	21	15.8%
クリティカルケア事業	129	78	207	48	71	119	-81	-62.9%	-88	-42.7%

EBITDA	1Q	2Q	2021年度 上期	2022年度		1Q 前年同期比		上期 前年同期比		
				1Q	2Q予想	増減額	増減率	増減額	増減率	
ヘルスケアセグメント	319	257	577	296			-23	-7.3%		
医薬・医療事業	125	111	236	158			33	26.8%		
クリティカルケア事業	195	146	341	138			-57	-29.1%		

## ヘルスケアセグメント（医薬事業の主要医薬品売上高）

(売上高の対象地域、単位)	2021年度		2022年度	1Q 前年同期比	
	1Q	上期	1Q	増減額	増減率
<b>&lt;旭化成ファーマ&gt;</b>					
テリボン (国内、億円)	90	186	104	14	15.8%
リコモジュリン ( " )	22	45	20	-2	-8.5%
ケブザラ ( " )	16	35	22	6	34.7%
リクラスト ( " )	3	6	3	0	11.5%
プラケニル ( " )			14	14	
<b>&lt;Veloxis&gt;</b>					
Envarsus XR (米国、百万ドル)	34	67	46	12	37.1%

一般名	薬効・分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド酢酸塩 骨粗鬆症治療剤（副甲状腺ホルモン：PTH）	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	注射剤
リクラスト	ゾレドロン酸水和物 骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症	注射剤
リコモジュリン	トロンボモデュリンアルファ（遺伝子組換え） 血液凝固阻止剤	DIC（汎発性血管内血液凝固症）	注射剤
ケブザラ	サリルマブ（遺伝子組換え） 関節リウマチ治療剤	既存治療で効果不十分な関節リウマチ	注射剤
プラケニル	ヒドロキシクロロキン硫酸塩 免疫調整剤	皮膚エリテマトーデス、全身性エリテマトーデス	錠剤
Envarsus XR	タクロリムス徐放製剤 免疫抑制剤	腎移植	錠剤

## ヘルスケアセグメント（医薬事業の研究開発状況）

		開発コード・剤型 (一般名)	薬効・分類	適応症	地域	自社/導入	備考
国内	申請中	A K 1 8 2 0・注、カプセル (イサブコナゾニウム硫酸塩)	深在性真菌症治療剤	真菌症	日本	導入	
	フェーズⅡ	A R T - 1 2 3・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性 末梢神経障害	日本	自社	効能追加 日米共同フェーズⅠ 実施中
	フェーズⅡ	A K 1 8 3 0・経口	慢性疼痛治療剤	変形性関節症に伴う 疼痛	日本	導入	
	フェーズⅡ			慢性腰痛症に伴う 疼痛			
海外	申請中	H E - 6 9・錠 (ミゾリビン)	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	中国	自社	効能追加
海外	フェーズⅢ	A R T - 1 2 3・注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	米国・欧州 他	自社	

## 探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ（アンメットメディカルニーズ）」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

# 主なM&A案件（2021年4月以降）

		企業名	事業内容	PL連結開始	買収金額	のれん発生額
住宅	住宅	McDonald Jones Homes Pty Ltd	豪州における注文住宅の建築請負及び分譲住宅の販売	2021年4月1日	191億円	55億円
ヘルスケア	医薬・医療	Bionova Holdings, Inc.	バイオ医薬品製薬企業への製造プロセス開発受託、抗体医薬品GMP製造受託、次世代抗体医薬品GMP製造受託	2022年7月1日	426億円 (暫定)	398億円 (暫定)
	クリティカルケア	Respicardia, Inc.	中枢性睡眠時無呼吸症に対する植え込み型神経刺激デバイスの開発・製造・販売	2021年4月9日	307億円	144億円
		Itamar Medical Ltd.	睡眠時無呼吸症診断製品群等の開発・製造・販売	2021年12月16日	609億円	378億円 (暫定)

# トピックス（2022年4月以降）

## 成長に向けた投資（GG10関連）

- ◆ 旭化成メディカルによる次世代抗体医薬品CDMOの米国Bionova Scientific, LLC買収に関する契約締結。（4月）  
買収完了。（5月）
- ◆ 旭化成エレクトロニクスによる車載アクティブロードノイズキャンセル技術に関するイスラエルSilentium Ltd.との契約締結。（5月）
- ◆ 旭化成ファーマによる株式会社アークメディスンとの「選択的エンドセリンA受容体拮抗薬」に関する独占的ライセンス契約締結。（6月）

## 構造転換や既存事業強化の取り組み

- ◆ 会社分割（簡易吸収分割）によるフォトマスク用ペリクル事業の三井化学株式会社への承継を決定。（5月）

## 経営基盤強化

- ◆ 旭化成グループ共通のデータマネジメント基盤「DEEP」の構築を発表。（5月）
- ◆ 機能樹脂製品、合成ゴム・エラストマー製品のカーボンフットプリントデータ提供を開始。（5、6月）
- ◆ 2021年に引き続き「DX銘柄2022」に選定。（6月）

### 【凡例】

- ◆ : マテリアル
- ◆ : 住宅
- ◆ : ヘルスケア
- ◆ : 全社



# 四半期売上高推移（2019年度以降）

(億円)

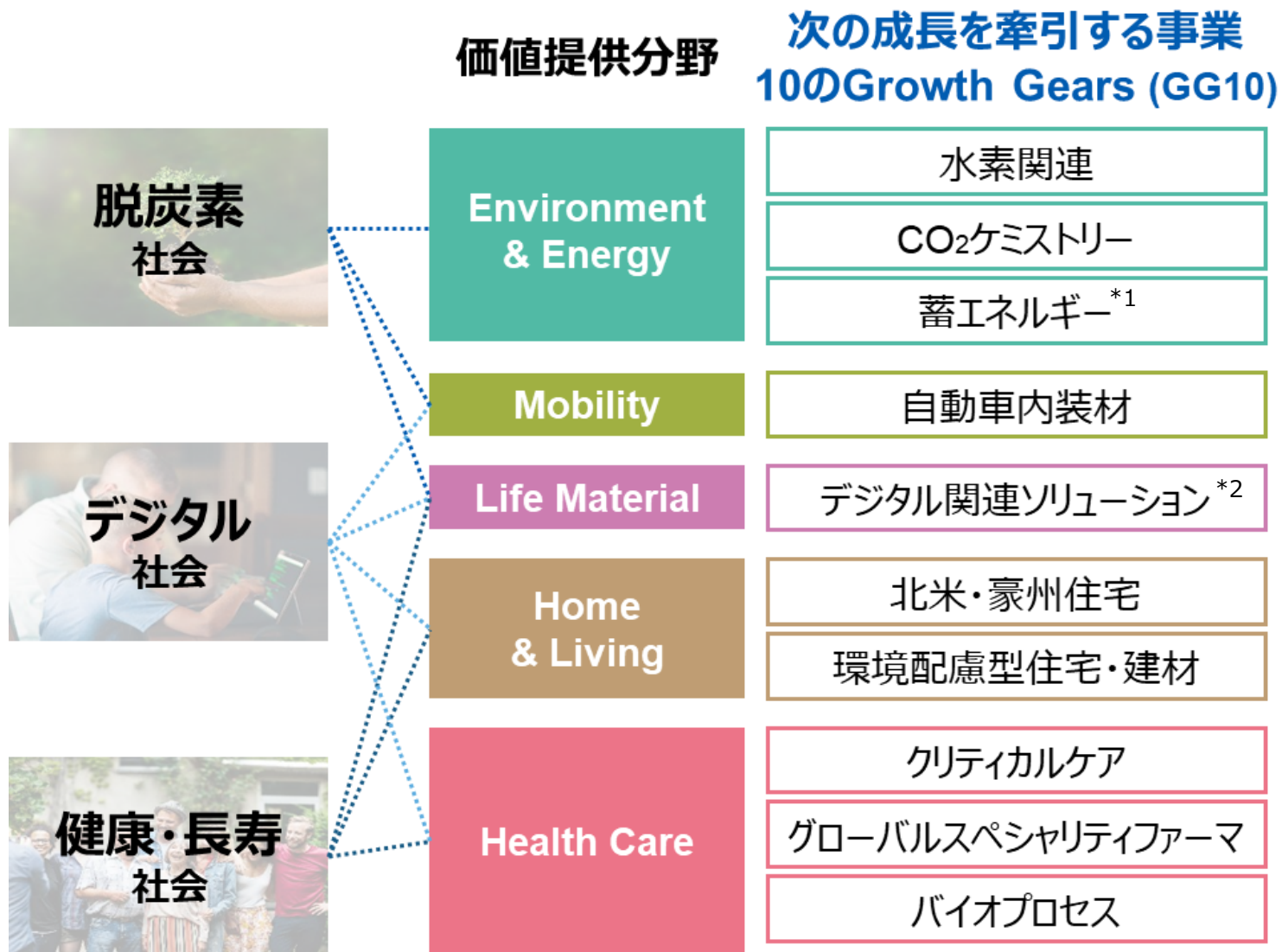
	2019年度<組替後>				2020年度<組替後>				2021年度<組替後>				2022年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q予想
マテリアルセグメント	2,746	2,922	2,795	2,604	2,080	2,368	2,710	2,890	2,796	2,963	3,152	3,189	3,394	3,726
環境ソリューション	1,168	1,241	1,187	1,047	890	951	1,065	1,237	1,191	1,290	1,373	1,372	1,499	1,646
うち 基盤マテリアル	755	779	768	648	537	559	644	771	724	823	902	900	1,001	1,079
モビリティ&インダストリアル	686	671	645	632	391	556	716	768	754	765	807	896	925	1,060
ライフイノベーション	893	1,011	963	925	799	859	927	883	850	905	971	919	969	1,016
うち デジタルソリューション	273	304	307	285	280	281	307	275	286	306	313	309	342	353
マテリアル共通	0	0	-0	0	-0	3	2	2	0	3	2	2	2	3
住宅セグメント	1,414	1,855	1,525	2,115	1,478	1,848	1,702	1,771	1,951	1,979	2,183	2,112	2,066	2,104
住宅	1,306	1,743	1,419	2,025	1,391	1,753	1,610	1,694	1,872	1,886	2,085	2,022	1,975	1,995
建材	108	112	107	90	88	95	92	76	79	93	98	90	92	108
ヘルスケアセグメント	827	849	835	867	957	1,092	1,030	1,000	1,058	1,001	1,070	1,030	1,214	1,296
医薬・医療	343	358	323	309	365	378	407	394	428	426	468	421	505	510
クリティカルケア	484	491	512	558	592	714	623	606	630	575	603	609	710	785
その他	34	39	43	45	36	35	30	33	30	33	32	35	30	40
合 計	5,021	5,666	5,199	5,631	4,552	5,342	5,473	5,694	5,834	5,976	6,437	6,366	6,704	7,166

# 四半期営業利益推移 (2019年度以降)

(億円)

	2019年度<組替後>				2020年度<組替後>				2021年度<組替後>				2022年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q予想
マテリアルセグメント	245	299	211	120	80	110	209	230	311	275	298	176	268	157
環境ソリューション	95	139	89	14	19	44	82	130	143	145	138	62	102	52
うち 基盤マテリアル	84	102	58	-3	-10	20	42	89	82	108	100	64	83	31
モビリティ&インダストリアル	63	64	40	35	-33	8	39	63	82	50	54	71	52	53
ライフイノベーション	76	99	83	67	82	66	90	55	102	89	108	49	121	63
うち デジタルソリューション	18	34	32	35	31	28	38	36	43	46	46	34	67	39
マテリアル共通	11	-3	-1	4	12	-8	-3	-18	-16	-11	-2	-6	-6	-11
住宅セグメント	99	228	133	265	106	209	164	152	151	181	223	173	153	156
住宅	88	213	121	252	98	196	155	148	147	173	213	173	150	155
建材	12	14	17	10	10	13	11	0	4	8	10	0	3	1
ヘルスケアセグメント	126	133	99	77	155	199	204	118	205	138	159	20	148	128
医薬・医療	68	72	38	1	57	51	88	34	76	59	90	-7	100	57
クリティカルケア	59	61	61	77	98	148	117	84	129	78	69	27	48	71
その他	5	9	10	12	8	10	9	15	5	12	9	15	6	8
消去又は全社	-63	-64	-67	-104	-48	-61	-58	-92	-67	-79	-80	-98	-81	-79
合 計	413	604	385	370	301	467	527	423	605	526	609	286	494	369

# 新中期経営計画における成長牽引事業（GG10）



\*1 セパレータ事業 等

\*2 電子部品事業、電子材料事業 等

# 注記

- EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形、無形、のれん）
- 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用し、一部の取引において売上高及び売上原価の計上基準を変更している。
- セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

# IRカレンダー

**2022年度第2四半期決算  
決算発表予定日**

**2022年11月9日（水）**

# AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

